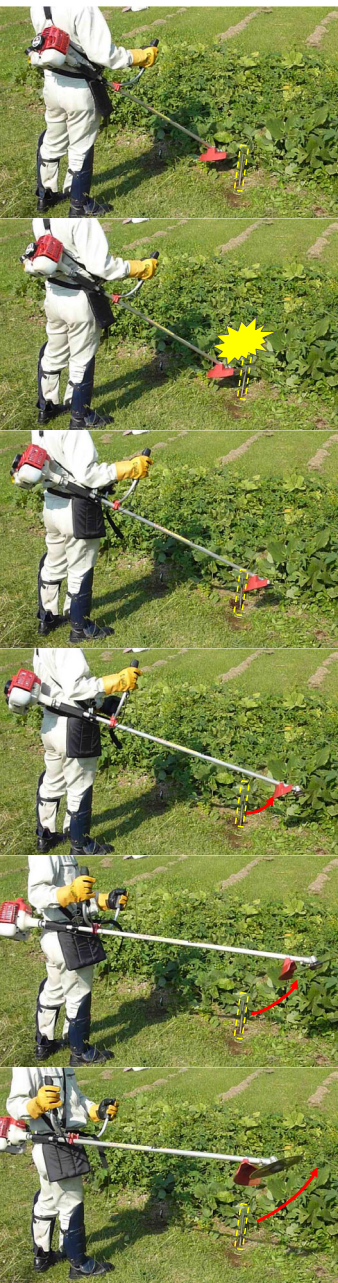


キックバックに注意！

作業中に刃に接触してしまう原因の一つに「キックバック」という現象があります。

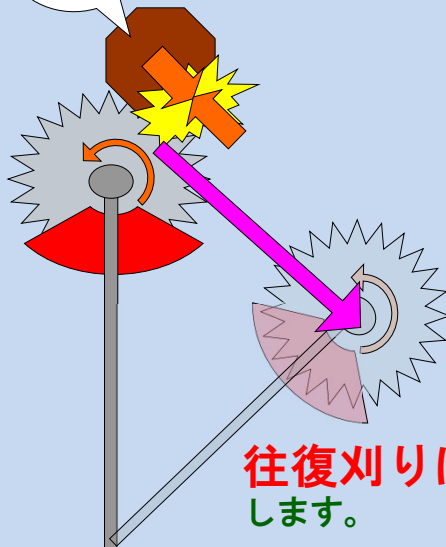


障害物に刈刃の
右側が当たると

急に刈刃が跳ねてし
まいます

障害物

キックバックが起こる仕組み

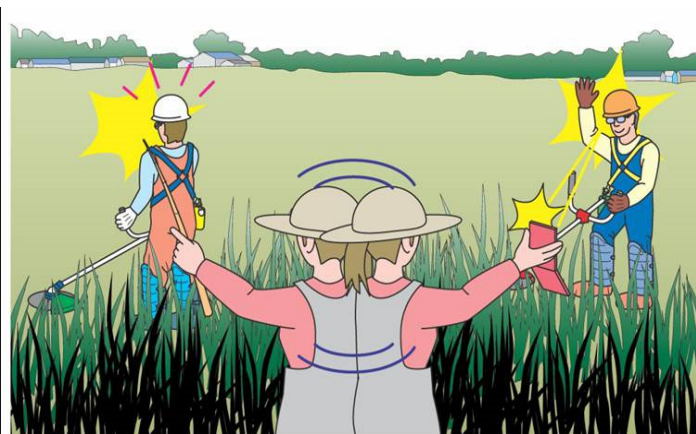


刈刃は、右から左へ反時計回りに回転します。このため右側で刈った時に障害物とぶつかったときに働く力は、ハンドル部分を支点に作業者の右方向に大きく作用しますので、刈刃部分が右側方に跳ね上げられるように動くこととなります。

跳ね上がった刈刃が作業者や周囲の者に当たったり、転倒により刈刃が身体に接触する大きな事故につながります。

往復刈りは避け刃の左側だけで刈るようにします。

刈払い作業者への合図は注意しながら



刈払機は騒音が大きく、遠くから声をかけても作業者は気がつきません。後から不用意に合図をすると、作業者が振り向いて脚を切られるおそれがあります。あらかじめ安全な合図を決めておきましょう。

1. 作業者の前方から鏡や笛で遠くから合図します。目安として15m以上の距離をとりましょう。
2. 後方からしか接近できないときは、長い棒のようなもので作業者に接近を知らせます。
3. 作業者は、エンジンを停止させてから話をします。